

放課後等デイサービス自己評価表 (事業者向け)

株式会社 ニューズ
実施月：2023年1月

キッズ・あいびい～Ⅳ

公表：2023年2月

調査人数：7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3	/	
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	/	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	2	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	4	/	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3	/	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	4	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	/	/	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	/	/	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	4	/	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	/	
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	4	3	/	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	/	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	/	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	4	1	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	/	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	/	/	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	/	/	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	4	/	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	/	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2	/	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	/	3	4	
	23	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	/	
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	2	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	/	3	4	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか	7	/	/	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	/	4	3	
保護者への説明責任	30	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	5	2	/	
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	/	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	2	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	/	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	/	/	
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1	/	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	/	/	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	4	
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4	/	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	/	/	
	40	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	/	/	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画等に記載しているか	4	2	1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	/	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	4	/	

放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け）

事業所名	キッズ・あいびい～Ⅳ
------	------------

意見・改善目標

【① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか】

- ・ 利用児童数と児童の状況によって空室を利用したり、駐車場の安全を確保後に屋外でボール遊び等を行っている。
- ・ 利用人数が多い時は状況を見てなるべく全体が見える場所へ着くようにしている。

【② 職員の配置数は適切であるか】

- ・ 送迎時に職員が不足する場合があります、他事業所間で協力をしあっている。
- ・ 児童の人数に対して、児童のメンバーによって人員を多く配置している。
- ・ 危険認知の低い児などが利用している日などは、スタッフの手が足りないと感じる事があります。

【③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか】

- ・ キッズスペースにおいてフラットではあるが、個別の学習机が複数配置してある為、完全にバリアフリーとは言えない。

【④ 業務改善を進める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか】

- ・ 職員間の伝達、協力、実行を常に行うようにしている。
- ・ PDCAの取り組みを実践する際に、再度スタッフ同士の再確認、実践した後の結果報告等、意見交換もしっかり出来ているかと思えます。

【⑧ 職員の資質向上を行う為の、研修を確保しているか】

- ・ 社内研修などに積極的に参加して、幅広く意見を参考にしている
- ・ 2ヶ月に一度の社内研修を受講して学んだことの振り返りをしっかり実践していく。

【⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか】

- ・ 児童 1 人 1 人や当日のメンバーによって提供しているが、その時の本人の様子で変更したり、拒否がある場合は、無理にしないようにしています。
- ・ 月に何度かイベント（工作作業、映画鑑賞、おやつ作り）などを企画して、マンネリ化しない様にスタッフ内で意見を出し合ってイベントを行うように心がけています。

【⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援をしているか】

- ・ 年齢差のある利用児童に適切に対応する事は難しいが努力していく。
- ・ 休日、長期休暇では全員ではないが、楽しく取り組めるイベントや活動を設けながら、その時の児童の様子や気分に合わせている。

【⑰ 支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか】

- ・ 帰り送迎後から退勤時間で時間がある際は、その時に気になった事を話し合ったり、親御さんからの情報を申し送る。時間がない場合は、翌日に申し送り、児童に対しての話し合いは毎日行っています。

【⑳ 運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか】

- ・ 把握している内容に関しては、ご返答をして対応していますが、不十分な点に関しては事業所に持ち帰り、責任者に内容確認をして後日ご返答をする様にしています。

【㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか】

- ・ 毎月の新聞発行と別にも月イベントのお知らせを発信している。

【㉚ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか】

- ・ ヒヤリハットへの記入漏れ等もあり、スタッフ全員での共有が出来ていない事もある為、朝のミーティング時間などを活用して情報の再確認と共有を心がけています。